

つれづれ

平成28年5月6日(金)

吉凶は日によらず



太陽の動きに基づいて、1年間を24等分したものを「二十四節気」と言います。立春や春分などがあり、暦ではこれらを季節の変わり目としています。昨日は立夏でした。街中にも新緑が目立ち、爽やかな風に夏の気配が漂い始めていますね。

暦を解説した本には、二十四節気が詳しく説明されています。また、二十四節気以外に毎日の日柄も記されています。これを六曜と言ひ、先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口があります。大安、仏滅くらいは皆さんも聞いたことがあるでしょう。大安は万事において吉の日、仏滅は全てにおいて大凶の日、赤口は正午以外は何事をするにも凶の日とされています。

鎌倉時代の歌人・随筆家である吉田兼好（卜部兼好）は、著書『徒然草』の中で、六曜に関して次のように言っています。その要約を書きます。

「誰が言ったのか、赤口を不吉な日として避けるようになった。この日にすることは何事もうまくいかないとは、迷信であり愚かだ。昔から『吉日に悪をなすに、必ず凶なり。悪日に善を行うに、必ず吉なり』と言うではないか。だから、吉凶は人の行いによるのであって、日の良し悪しと関係ない」

テストの点数が悪かったのは、その日が仏滅だったから。そんなことは絶対ないですね。自分が努力しなかったからです。大安の日なのに、謝罪先で許してもらえなかった。謝罪相手に誠意が伝わらなかったのでしょうか。物事の結果は自分の行いの結果であり、うまくいかなかったといって、それを何かのせいにしてはいけません。行いが良ければ、吉（良い結果）と出るでしょうし、そうでなければ凶（悪い結果）と出るのは当然のことです。

これは、全ての物事に共通した摂理ではないでしょうか。

今一度、自分自身のものの見方、考え方、行動を確かめてみたいものです。



<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

大阪市教育委員会 天下茶屋中学校で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>